

## 第10分科会 在宅介護

コロナ禍での実践をレポートにして在宅介護の可能性を共有しよう

第10分科会 運営委員一同

コロナ禍では、これまで経験したことのない現場での実践が様々あると思います。そうしたことを踏まえ、在宅分科会として一つのヒントとなるような発表テーマとして以下のように考えてみました。各職場で、レポートの発表を考えている方は、まだ時間がありますので、是非この機会に発表していただきたいと思います。

- 1 ご利用者の生きる力や喜び、やりがい、いきがいにつながった例
  - (1) 科学的根拠を意識したケアの取り組み、もしくは科学的根拠のケアとは何か模索した事例
  - (2) コロナ禍ならではの外部交流や体操、ゲームなど自粛の中で新たな身体的な取り組みや集団でなくてもやり方を工夫し喜ばれた事例。回想法の発展版など
  - (3) 身体的ケアとは違った意味で心のケアやその後の生活意欲につながるような試み例 花や農作物の鑑賞、栽培等を通して身近な自然や生きている実感を取り戻していくような例 何かをきっかけにケアが発展した事例
  - (4) ご利用者がコロナでも取り組みたいと思ったテーマや取り組んでみた事例
  - (5) 自宅で籠りがちだったり、食べる意欲を失ってしまったりというご利用者への食支援や栄養支援、食べることを事例に次の生きる力に繋がっていった事例
  
- 2 コロナ禍でのサービス制限や自粛があるなかでの困難だった事例
  - (1) 受診をためらったり、受診が困難だったりするなかで継続的な医療支援に取り組んだ例
  - (2) 独居、老々介護での入院・入所困難、孤立など支援が通常より困難だった事例
  - (3) サービスを制限されたことで発生した虐待事例等、サービスの有効性を検討する事例
  
- 3 事業所として、在宅支援を組織的に経営的に改善しながら取り組んだ例。  
例 コロナでも収益や人員を確保してきた事例
  - (1) 地域や組織的なつながりで、ご利用者の支援を継続した事例
  - (2) 在宅支援に関わる関係者が、これからも在宅支援を続けたい、就業したいと思われるような取り組み。

4 地域や国への要望、今後の介護保険事業に関わる視点や新たな制度への発信を考えた事例 アンケートや検証 現場実態などの報告

5 その他

今までにない支援形態を試みた事例 通信機器やモバイルを駆使した事例

今までになかった喜びや悲しみを共有したい事例

介護支援専門員が抱える今後の介護保険制度への視点や提言

介護支援専門の今後働き方など

コロナ禍では出掛けることや人との交流に支障がありました。その点で、ご利用者の心身への影響は月日がたつごとに深刻さが増したように思います。また、デイサービスや訪問介護等においてはご利用者の支援とは別に、経営的、人間的な大変さは各職場それぞれで特色あるかと思えます。コロナの制限は解禁されましたが、まだまだ現場の困難は続きます。様々な視点で、今後に向けた発信はできると思いますので皆さんよろしくお願ひします。